

設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。

○×記入欄

例題 全日本宗教用具協同組合が定める「祈りの日」は3月27日である。 Q

- 問1** 釈尊の初転法輪では即身成仏が説かれた。

問2 布施は六波羅蜜のひとつである。

問3 釈尊が説いた八正道は、人が正しく生きるための教えである。

問4 奈良・法隆寺の玉虫厨子は日本最初の仏壇と言えるものだ。

問5 高野山の金剛峯寺は天台宗の本山である。

問6 浄土宗では浄土五祖の初祖を釈尊とする。

問7 横看の肖像絵画・肖像彫刻を頂相と呼ぶ。

問8 持仏堂は仏壇の源流のひとつとされる。

問9 京都の銀閣寺東求堂には位牌棚が設けられていた。

問10 明治時代に「祖先教」という概念が登場する。

問11 手足指縫網相と呼ばれる如来の手の指の間の水ひれのようなものは三十二相のひとつである。

問12 右のような仏の目の構造を玉眼と呼ぶ。

問13 右の十字の名号は「きみょうじんじっぽうむげこうによらい」と読む。

問14 右の両脇侍は浄土宗のものである。

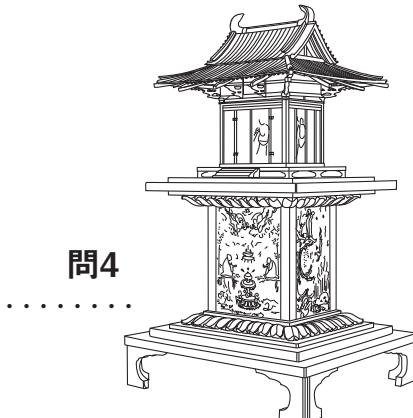
問15 仏像の身丈とは仏像の髪の生え際から台座下までを指す。

問16 仏典『俱舍論』では亡くなった時を死有、生まれ変わる時を生有とし、その間を中有とする。

問17 佛教の三回忌は没後25ヶ月後に行う儒教の大祥忌にあたる。

問18 生前に死後の供養を予め行うことを追善供養と呼ぶ。

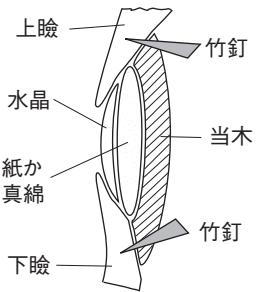
問19 五七日の忌日法要に当てられる十三仏は弥勒菩薩で、十王は秦広王である。



問4



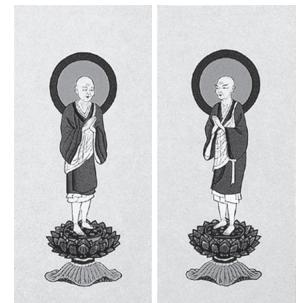
問11



問12



問13



間14



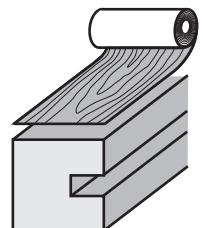
問1

採点欄

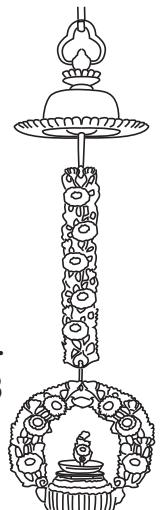
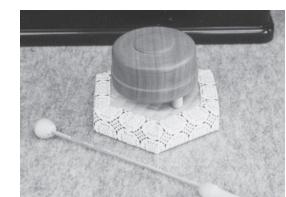
(前頁よりの設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

○×記入欄

- 問20 神道では毎年の命日に行う神事を正辰祭と呼ぶ。
- 問21 金箔の重押しは、置かれた金箔が艶消しで仕上加ることをいう。
- 問22 仏壇公正競争規約では、仏壇の正面表面において、正面表面を精製漆で仕上げたものは「漆仕上げ」の表示ができる。
- 問23 右の金箔製造技法は縁付金箔のものである。 問23
- 問24 呂色は漆の擦り込みと炭などを用いた研磨、手の平で磨く工程を含む漆芸技法である。
- 問25 金メッキ工程では金メッキの前に、銅メッキなどの下地メッキも施す。
- 問26 仏壇公正競争規約において「厚板貼り」とは厚さ3mm以上の無垢板を貼ったものである。
- 問27 仏壇公正競争規約において「グラナディロ」は「紫檀」の表示ができる。
- 問28 右の厨子の戸に使われているのは柾目^{まきめ}の板である。 問28
- 問29 仏壇公正競争規約において右図のように木目を印刷したシートを貼り付けたものを「調プリント」と呼ぶ。
- 問30 仏壇公正競争規約においてインドネシア・スマラウェシ島で産出される黒檀は本黒檀と表示ができる。
- 問31 『御文箱(御文章箱)』の御文(御文章)とは親鸞聖人の手紙のことである。
- 問32 右の梵音具は木鉢である。 問32
- 問33 菊輪灯は真宗大谷派の仏具である。
- 問34 本連珠数の主玉の数は108玉であることを基本とする。
- 問35 『梵網經』では十重四十八軽戒を受戒することで、諸仏と同じ位に入ると説く。
- 問36 ダイカスト鋳造はアルミ合金仏具の製造に用いられる。



問29
印刷したシートを貼り付け



問33
梵網經

採点欄

--	--

(前頁より設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

○×記入欄

- 問37 日本において線香の製造が始まったのは鎌倉時代であるとされる。 X
- 問38 『日本書紀』に記された沈香が漂着した島は淡路島である。 O
- 問39 神道用語としての帰幽きゆうは仏教で往生に相当する。 O
- 問40 「原産国表示」は仏壇公正競争規約における「店頭等における必要表示事項」である。 O
- 問41 不正競争防止法では「よく知られた製品のコピー」を「自社製品」として販売することは禁じられていない。 X
- 問42 消費者契約法では重要な事項については利益になることのみを告げ、不利益な事項については意図的に隠した場合、お客様からの契約取り消しが可能となる。 O
- 問43 1945年11月16日に生まれた方の2025年11月13日における数え年は80歳である。 X

設問2 次の設問の語句で正しいものには○を、間違っているものには×を下の記入欄に書いてください。

例題

例題 真言宗の宗祖は《空海》である。 O

歴史上の釈尊の言葉を伝える経典として『阿含經』があります。《① 1400年代》の中国の天台大師智顥は『阿含經』を初学者のための教え、《② 阿弥陀經》を最高の教えと位置付けたこともあり、日本では長らく『阿含經』は注目される経典ではありませんでした。

『阿含經』が注目されるようになるのは日本では明治時代以降のことで、鈴木大拙すずきだいせつがアメリカの大学で禪を教えた時代は、

仏教が世界的な注目を集めようになった時代で、ヨーロッパではパーリ語原典（※）による『阿含經』の研究が《③ イギリス》を中心に進みました。

日本の仏教は天台・真言、鎌倉時代の仏教も《④ 全ての人が仏になることができる》ことを前提とする大乗仏教を基本としてきましたが、19世紀以降の仏教研究により大乗仏教の経典は《⑤ 釈尊の入滅後》に登場したものとされるようになりました。

明治時代以降、日本の仏教は大乗仏教に加えて、『阿含經』など歴史上の釈尊の教えが改めて加わることになります。

また、明治時代以降には英語のReligionの訳語として《⑥ 宗教》という用語が広く使われるようになり、

20世紀初頭には宗教は信じるものであり、《⑦ 信仰》に拠るものであるという説明が確立したとされます。

(※) パーリ語は古代インドの言語のひとつ。

採点欄

- 問1 X
問2 X
問3 O
問4 O
問5 O
問6 O
問7 O

設問2 ○×記入欄

--	--